

2024 年 11 月 28 日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

CCSテクニカルワークショップ2025

～我が国のCCSバリューチェーンの構築に向けて～

開催について

2023年7月に閣議決定された「GX推進戦略」において、2030年までのCCS事業開始に向けた事業環境を整備するため、模範となる先進性のあるプロジェクトを支援する方針が示されました。その一環として、経済産業省・JOGMECによる「先進的CCS支援事業」がスタートし、国内貯留に留まらず、アジア大洋州地域全体での脱炭素化を目的として、海外貯留を含めたモデル性のあるCCSの展開の支援が実施されています。

二酸化炭素地中貯留技術研究組合においても、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業として、CCS事業の安全性向上やコスト削減に寄与する技術開発を推進しています。国内外サイトにおける光ファイバーによるマルチセンシング技術の現場実証、CO₂貯留サイト周辺の断層安全性・健全性の評価手法の開発、CCSバリューチェーンの検討に重要となる「CO₂排出源データベース」や「CCS事業コスト試算ツール」の構築に取り組んでいます。

本ワークショップでは、先ず、豪州Gorgon CCSプロジェクトにおける貯留層有効活用の事例を紹介します。次いで、当技術研究組合から技術開発の成果及び進捗状況を報告するとともに、CCS事業法に関連する取り組み、JOGMECによる先進的CCS支援事業の活動状況を紹介します。

さらに、ポスターセッション、意見交換会を併催し、講演者、当技術研究組合の研究員との意見交換、議論の場をご用意します。

1. 開催概要

日程	2025年1月29日（水） 13:00～17:30（受付開始12:20）
会場	イイノホール（東京都千代田区）および web配信 入場無料、言語：日本語・英語（同時通訳有り）
主催	二酸化炭素地中貯留技術研究組合
組合員：	・伊藤忠商事株式会社・伊藤忠石油開発株式会社・応用地質株式会社・石油資源開発株式会社・大成建設株式会社・株式会社地球科学総合研究所・電源開発株式会社・株式会社東邦アーステック・三菱ガス化学株式会社・株式会社INPEX・JX石油開発株式会社・国立研究開発法人産業技術総合研究所・公益財団法人地球環境産業技術研究機構
共催	経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
開催案内URL	https://www.rite.or.jp/news/events/2024/11/ccs2025.html

2. プログラム（案）

（敬称略）

モデレーター：京都大学 名誉教授 松岡 俊文

時刻	演題（仮題）	登壇者
12:20	開場（受付・ポスター展示 開始）	
13:00～13:05	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一
13:05～13:10	共催者挨拶	経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 燃料環境適合利用推進課 CCS政策室長 慶野 吉則
13:10～13:15	共催者挨拶	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 サークュラーエコノミー部 部長 福永 茂和
13:15～13:20	趣旨説明	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
13:20～14:20	講演1 （Gorgon CCS Project）	Robert Root Gorgon Asset Development Manager Chevron
14:20～15:20	講演2 （技術研究組合の技術開発の取組み状況）	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
15:20～16:00	ポスターセッション & コーヒーブレイク	
16:00～17:00	講演3 （CCS事業法）	西村あさひ法律事務所
17:00～17:20	講演4 （先進的CCS支援事業の活動状況）	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源 機構（JOGMEC） CCS事業部 部長 北村 龍太
17:20～17:25	総括	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
17:25～17:30	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 下田 吉之
（閉会后）	意見交換会（会費制）、ポスター展示	

※講演者、演題、講演時間等は変更になる場合があります。

3. 参加登録

下記のとおり、(1) オンライン登録、または (2) E-mail にて、お申し込み下さい。

(ア) オンライン登録

【開催案内】 <https://www.rite.or.jp/news/events/2024/11/ccs2025.html>

【参加登録】 <https://ccsws.net/form>

(イ) E-mail でのお申し込み

【宛先】 ccsws@rite.or.jp

【記入事項】

1. お名前（漢字）： 2. お名前（かな）： 3. 会社名（漢字）： 4. 会社名（かな）：
5. 部署名： 6. 役職名： 7. お電話番号： 8. Email アドレス： 9. ご希望の参加方法：
（会場参加・Web 配信）： 10. 意見交換会：（参加・不参加）： 11. 今後の関連イベント案内の送付：（可・不可）

(ウ) 参加お申し込み締め切り

会場参加を希望される場合: 2025 年 1 月 15 日（水）

web 配信を希望される場合: 2025 年 1 月 20 日（月）

参加登録に関するお問い合わせ先:

CCS ワークショップ 2025 事務局

TEL: 03-5549-6911 E-mail: ccsws@rite.or.jp

ワークショップの内容に関するお問合せ先:

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部 技術研究第一グループ 名井、中西、平井

TEL: 0774-75-2309 E-mail: ccsws@rite.or.jp

本プレス発表に関するお問合せ先:

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ

TEL: 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

<添付資料>

CCS テクニカルワークショップ 2025 リーフレット

CCSテクニカルワークショップ2025

～我が国のCCSバリューチェーンの構築に向けて～

日程 2025年1月29日(水)
13:00～17:30(受付開始12:20)

会場 イイノホール および Web配信

主催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共催 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

入場無料

言語:日本語・英語 (同時通訳有り)

ワークショップ終了後、意見交換会を実施します。(会費制: 3千円)

モデレーター: 京都大学 名誉教授 松岡 俊文

(敬称略)

時刻	演題(仮題)	登壇者
12:20	開場(受付・ポスター展示 開始)	
13:00～13:05	開会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事長 平松 晋一
13:05～13:10	共催者挨拶	経済産業省 資源エネルギー庁 資源燃料部 燃料環境適合利用推進課 CCS政策室長 慶野 吉則
13:10～13:15	共催者挨拶	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 サーキュラーエコノミー部 部長 福永 茂和
13:15～13:20	趣旨説明	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
13:20～14:20	講演1 (Gorgon CCS Project)	Robert Root Gorgon Asset Development Manager Chevron
14:20～15:20	講演2 (技術研究組合の技術開発の取組み状況)	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長 薛 自求
15:20～16:00	ポスターセッション & コーヒーブレイク	
16:00～17:00	講演3 (CCS事業法)	西村あさひ法律事務所
17:00～17:20	講演4(先進的CCS支援事業の活動状況)	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) CCS事業部 部長 北村 龍太
17:20～17:25	総括	京都大学 名誉教授 松岡 俊文
17:25～17:30	閉会挨拶	二酸化炭素地中貯留技術研究組合 理事 下田 吉之
(閉会后)	意見交換会(会費制)、ポスター展示	

※講演者、演題、講演時間等は変更になる場合があります。



二酸化炭素地中貯留技術研究組合
Geological Carbon Dioxide Storage Technology Research Association



二酸化炭素地中貯留技術研究組合には下記の法人が参画しています。
伊藤忠商事株式会社・伊藤忠石油開発株式会社・応用地質株式会社・石油資源開発株式会社・大成建設株式会社・株式会社地球科学総合研究所・電源開発株式会社・株式会社東邦アーステック・三菱ガス化学株式会社・株式会社INPEX・JX石油開発株式会社・国立研究開発法人産業技術総合研究所・公益財団法人地球環境産業技術研究機構

開催趣旨

2023年7月に閣議決定された「GX推進戦略」において、2030年までのCCS事業開始に向けた事業環境を整備するため、模範となる先進性のあるプロジェクトを支援する方針が示されました。その一環として、経済産業省・JOGMECによる「先進的CCS支援事業」がスタートし、国内貯留に留まらず、アジア大洋州地域全体での脱炭素化を目的として、海外貯留を含めたモデル性のあるCCSの展開の支援が実施されています。

二酸化炭素地中貯留技術研究組合においても、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業として、CCS事業の安全性向上やコスト削減に寄与する技術開発を推進しています。国内外サイトにおける光ファイバーによるマルチセンシング技術の現場実証、CO2貯留サイト周辺の断層安全性・健全性の評価手法の開発、CCSバリューチェーンの検討に重要となる「CO2排出源データベース」や「CCS事業コスト試算ツール」の構築に取り組んでいます。

本ワークショップでは、まず、豪州Gorgon CCSプロジェクトにおける貯留層有効活用の事例を紹介します。次いで、当技術研究組合から技術開発の成果及び進捗状況を報告するとともに、CCS事業法に関連する取り組み、JOGMECによる先進的CCS支援事業の活動状況を紹介します。

さらに、ポスターセッション、意見交換会を併催し、講演者、当技術研究組合の研究員との意見交換、議論の場をご用意します。

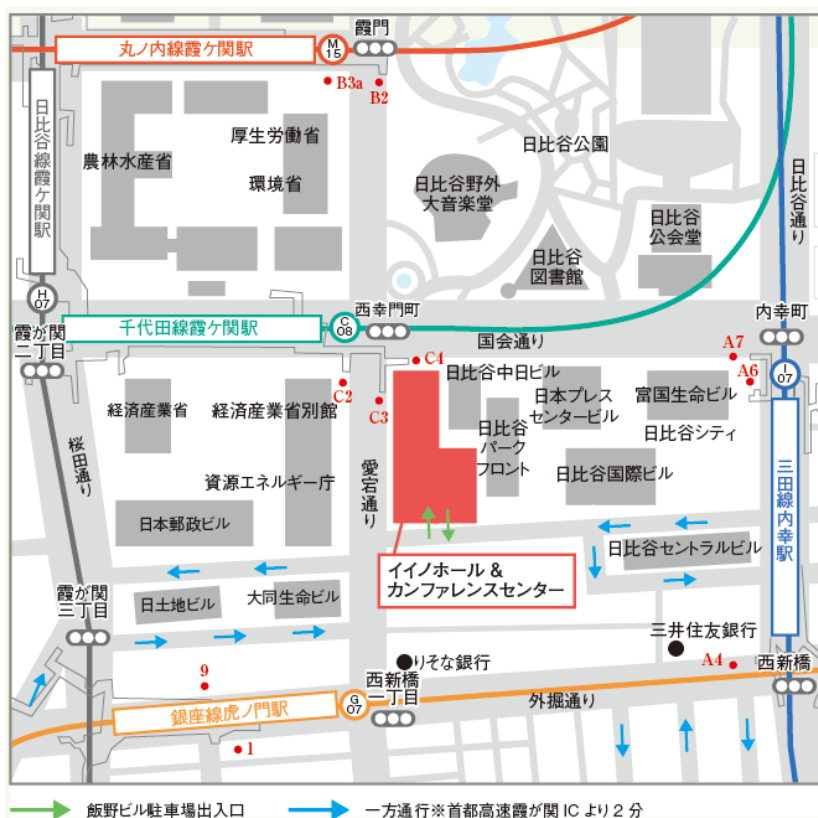
会場へのアクセス

イノホール & カンファレンスセンター

- ・ 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結
- ・ 東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- ・ 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- ・ 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分
- ・ JR各線「新橋」駅徒歩10分

<https://www.iino.co.jp/hall/access/>

東京都千代田区内幸町2-1-1
飯野ビルディング4F



開催案内

<https://www.rite.or.jp/news/events/2024/11/ccs2025.html>

申込方法

下記のサイトからお申込をお願いいたします。

<https://ccsws.net/form>

会場参加申込締切: 2025年1月15日(水)
Web 配信申込締切: 2025年1月20日(月)

お問合せ先

CCSワークショップ2025 事務局 Eメール: ccsws@rite.or.jp TEL:03-5549-6911

サイトからご登録ができない場合は以下の記載事項をご記入の上、ccsws@rite.or.jpまでEメールでお申し込みください。

参加申し込み記載事項

1. お名前(漢字):
2. お名前(かな):
3. 会社名(漢字):
4. 会社名(かな):
5. 部署名:
6. 役職名:
7. お電話番号:
8. Emailアドレス:
9. ご希望の参加方法: (会場参加・Web配信)
10. 意見交換会: (参加・不参加)
11. 今後の関連イベント案内の送付: (可・不可)

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。